

お役立ち情報

豆知識

現場監督

家づくりを進めていく中、始めのうちは営業マンと設計士との打ち合わせが主です。

契約が済み、設計が終わり、起工式が終了する頃から営業マンはあまり表面に出てきません

(一般的に営業マンは歩合制、契約を取るまでが仕事、次のターゲットへ)

確認申請提出前後から現場監督がお施主さんの前に現れます

現場監督は、いろいろな職種の職人さんを取り仕切る家づくりには欠かせない人です。

現場監督の仕事は主に 品質管理・工程管理・予算管理 です。

施工図の作成 設計図面では表れていない細かい部分を職人さんが判るように図面化します。

工事中の細かい部分を職人さんとの打ち合わせ、指示します

実行予算の作成 協力業者との予算交渉

お施主との現場での打ち合わせ

変更が出た場合の設計とのすり合わせ

変更事項の職人さんへのフィードバック・・・

契約した金額の中で施主の希望通りの家づくりをして会社のために利益を出すのも監督の仕事です

現場監督は現場の責任者です。当然、職人さんたちにとって現場監督の一言は絶対です。

職人さんたちにとって施主の一言よりこの人の一言のほうが強いのです。

現場と実際との食違いとか、変更とか、現場で起きる問題をいかにスムーズに解決して行くかが、現場監督の技量が試されることです。

どんないい設計、どんないい工務店・ハウスメーカーでも、現場を管理する監督によって出来・不出来満足度が違ってきます

家づくりは、打ち合わせ、施工図、取次等忙しく、現場一つでも忙しいのに5も6も現場を掛け持ちさせている業者も、当然トラブルが発生し、スムーズな解決ができず、大変なことに

こんなことも家づくりの参考になるのでは



現場監督の塚原健司



現場監督の小川高夫

いい仕事をする頼りになるベテランの監督です

シンエイ工務 余田一夫